



PTAだより

<2号>

2023年2月発行

岡山県立倉敷南高等学校

47期生のみなさん ご卒業おめでとうございます

桃のつぼみも膨らみ、いよいよ本格的な春が近づいてまいりました。平素は本校PTA活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度もコロナ禍の中ではありましたが、5月の総会は体育館で開催でき、葦岡祭においては、生徒達の昼食の確保と熱中症対策の観点から、おにぎり、パン、ジュース販売をPTAでさせていただきました。先生方のご尽力で、体育大会の午後からの応援合戦のみ3年生の保護者が来校し観ることができ、また映像により全学年の出し物を配信して頂き、ゆっくり生徒達の姿を見ることができました。お忙しい中ご配慮頂き感謝申し上げます。

また今年度もSNS等で生徒達の日々の様子を頻繁にあげて頂き、行事も昨年度よりは緩和し、生徒達の頑張りに少しでもPTAとして協力できた事を嬉しく思います。

コロナ禍はいつ終息するのか分かりませんが、生徒一人一人が自分と向き合い、どんな困難に直面してもくじけず、未来を切り拓いて人生を歩んでもらいたいと願っております。今後ともPTA活動にご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

PTA会長 47期 田野美佐

コサージュづくり

恒例となっております卒業生へのコサージュ作りを、今年度は無事行うことができました。役員、評議員をはじめとする有志の方たちとマスク越しでも少しの会話を混じえて作成にあたったこの時間は、3年間コロナ禍で高校生活を終える保護者としましては、非常に感慨深いものでした。出来上がったコサージュは制服に映える淡いピンク色の薔薇を選びました。制作は花びらの中に事前に準備していたパールを重ね、南高のネクタイカラーの3色のリボンを結びました。

様々な制約があり思うような学校生活が送れない状況が続きましたが、卒業式は「生徒はマスクなしでの出席」と伺いました。まさにコロナ禍からの新たな一歩であり、47期の卒業生およびこれまで支えて下さった先生方にこのコサージュをお贈りいたします。次年度はさらにより多くの皆様と集い、コサージュづくりが行なわれることを祈っております。

PTA副会長 47期 秋元 恵子



「葦岡祭」開催報告とお礼

PTA副会長 47期 大楳路子

平素はPTA活動にご協力とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

長引くコロナ禍にあり「葦岡祭」が開催できるかどうか憂慮する中、感染予防の対策を十分にとり、先生方、生徒の皆さんをはじめ多くの方々のご協力のお陰をもって無事開催することが出来ました。また、規模を縮小してではありましたが、二年ぶりに「葦岡祭バザー」を行うことも出来ました。文化祭1日目には、「飲み物」や「おにぎり」、移動販売車による「パン」の販売を、体育大会では「飲み物」を販売させて頂きました。「葦岡祭」に参加させて頂きありがとうございました。

保護者の皆様の参加・観戦については、3年生の保護者を対象に体育大会の「応援合戦」のみ校内で観戦させて頂くこととなりましたが、「葦岡祭」の様子は、ホームページや動画配信で閲覧できるようご準備頂きましてありがとうございました。

「葦岡祭」は、学校全体、生徒、教職員の皆様、保護者が一体となれる最高のイベントです。様々な制約や課題を互いに協力しながら解決し達成感を共有できる貴重な機会だと思います。子供たちの普段とは違う生き活きと輝いた表情や姿を見ることが出来、大変嬉しく思いました。一日も早くコロナ禍が終息し制限無く活動できる日を心より願っております。

最後になりましたが、お世話になりました先生方、役員、評議員、PTA会員の皆様に心からお礼申し上げます。今後ともPTA活動にご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

文化祭 バザー
(西・渡り廊下)



体育大会 バザー
(体育館前)



令和4年度岡山県幼小中高PTA連合会連絡協議会 研修大会参加報告

PTA副会長 48期 三宅 晶子

今年1月18日、岡山シンフォニーホールで開催された「第41回研修大会」に参加しました。「豊かな心と確かな学びで子どもたちの生きる力を育もう」のテーマのもと発表を聞きました。

高校生による4校連携講座は、普通科工業科商業科など分野の違う人達と興味のある分野についてフィールドワークや出前講座で意見を話し合い市長に提言するという発表でした。地元の再発見や、こうすればもっと地元が好きになるという学生ならではの意見が魅力的なまちづくりに繋がっているのだと感じました。

PTA活動発表は、「地域と共に学び育つ」のテーマでした。PTAが中心に、とんど祭りや餅つき・昼休みや業間の時間の見守りやふれあい活動している小学校の発表を聞き、子供達にたくさんの経験をさせてあげ、年代を越えて共に交流をし、考える事や助け合う事を大事にしている地域だと感じました。

講演は、東京大学薬学部教授 池谷裕二 氏の「脳を知ってやる気を引き出す」でした。やる気とは、熱意（見えない学力）であるということや、やる気は一過性だから勉強には不向きだがスポーツなどをやる人には必要なもので、使い分けが必要だと教わりました。やる気が出たら勉強するというのは、やる気が続かないのですぐに飽きてやめてしまいがち。勉強のできる人は、やる気が出るまで待たず、勉強する時間を決めていて時間になったら始めるという人が多い事が分かっていて、習慣が大切であるということでした。さらに、最近では休憩中や昼寝・睡眠時に動画や音楽を聞くことが多いが、実は何もしないほうがより定着しやすいという事も合わせて教えていただきました。また、どうすれば楽に覚えられるかと言う問いに対して、やり方は十人十色であり、楽な方法はないので答えを推測する事を楽しみながらすることが大切とのことでした。年齢に関係なく楽しみながら学ぶことが必要なのだと感じました。